



日本共産党

北区議会議員

のの山けん区政レポート

http://www3.kitanet.ne.jp/~nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.146 2010.12.23

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

☎相談は
お気軽に 090-2156-3510

雇用・子育て・医療・介護

東京の共産党地方議員団
くらしの要求かかげ

厚労省に要請



日本共産党東京都委員会と地方議員団は16日、人間らしい雇用の保障、認可保育所増設による待機児解消、子ども医療費無料化、安心できる国民健康保険などを求め、厚生労働省に要請しました。北区からは、福島宏紀、本田正則、さがらとして、のの山けんの各区議と、宇都宮章党北地区くらし・雇用相談室長、ながいともこ同医療・福祉相

談室長が参加、笠井亮衆院議員、田村智子参院議員が同席しました。

公設派遣村の実施を

雇用については、住居や職を失った人などの越年対策について厚生労働省側が「11月から『住宅・生活困窮者応援プロジェクト』でワンストップサービスと就職面接会などをおこなっている。公設派遣村などの対応は28日までの実施状況を見て判断する」と説明。参加者からは「公設派遣村の実施を国が早急に決めるべきだ」と要望が出されました。

保育・子育てでは、認可保育所の整備や、保育の公的責任を否定する「子ども・子育て新システム」の検討を中止することを要請。また、医療・介護では、保険料の引き上げにつながる国民健康保険の広域化を中止することや、介護保険への

笠井亮衆院議員（左端）、田村智子参院議員（右端）と北区からの参加者（右から2人目が、のの山けん） 16日、国会内



国庫負担割合を引き上げることが求めました。

宿泊デイ、実態調査を

北区議員団からは「宿泊サービスをおこなっている区内の通所介護施設を調査したが、10人が雑魚寝状態で、火災などの対策もとられていない。こうした劣悪な施設がほかにもないか、国としてすぐ調査すべきだ」と要請しました。

今年も1年、お世話になりました。新年もよろしく願いいたします のの山けん

日本共産党志茂・赤羽後援会が「区政報告のつどい」

のの山区議、区政について語る



日本共産党志茂・赤羽後援会は18日、赤羽会館小ホールで「区政報告のつどい」を開き、44名が参加しました。
のの山けん区議が区政について報告、会場からもたくさんの方の質問や要望が寄せられました。

スライドを使って区政報告をする、のの山区議



会場からも、区政についてさまざまな質問が寄せられました

のの山区議はまず、広がる貧困、待機児解消、赤羽駅改修、議会改革などの柱にそって、スライドを使いながら約30分間、報告をおこないました。
その後、5つのテーブルごとに参加者が感想や意見を自由に出し合って交流。そこで出された質問や意見について、のの山区議が再度回答する形でつどいが進

められました。

「介護保険のことについて詳しく聞きたい」との質問に、のの山区議は「全国一厳しいといわれた介護認定を改善し、『ランク下げ』によるサービス切り捨てをやめさせました。昨年度からは介護保険料を平均で年間約1万円引き下げ、23区で最も安くさせました」と答えました。

「区庁舎の建替えの現状は？」との質問には、「北区は当初、区民の声をまともにも聞かないまま『移転して建替え』の方針を押しつけようとしてきました。共産党議員団が『区民合意こそ何より大切にすべき』と迫ると、区は当初の方針を撤回。今は区民代表も含めて基本構想検討会がおこなわれています」と回答し、9人の日本共産党北区議員団の奮闘ぶりを明らかにしました。



年末・年始でも

日本共産党区議会議員

のの山けん

お困りごと、お悩みごとはお気軽にご相談ください。

☎ 090-2156-3510